

**令和6年度 事業所における放課後等デイサービス
自己評価表(公表)**

公表: 令和7年 3月 31日

事業所名 福祉サービス事業所 森のせいかつ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		現在の利用人数に対し、十分なスペースが確保できている。利用者様の動線や安全面を考慮しながら環境作りを行っている。	今後、利用児童の成長や利用される人数が増える可能性が考えられる為、その都度工夫を行っていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	6		専門性を活かし、場面や状況によって、適切に職員を配置出来るように行っている。医療ケア、重症心身障がい児の支援の為、看護師2名配置している。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6		利用者様の動線には物を置かない等、環境設定を行っている。段差が出来ないように工夫し、少しの段差がどうしても出来てしまう際は、声掛け等行い、安全に努めている。	今後も利用児童に合わせて環境設定を行っていく必要がある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		毎朝の朝礼や定期的な会議の中で、全職員で話し合い、決めている。事業所目標、個人目標も意識し、利用者様の支援を適切に行う事が出来るよう工夫している。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		アンケート調査を実施し、ご家族の気持ちや子ども達の気持ちを把握し、業務改善に繋げている。思いに寄り添いながら支援を行っている。	評価表だけではなく、日頃からご家族とコミュニケーションを図り、思い等を引き出せるよう心掛けている。ご家族の意向に沿い、今後も業務改善等行っていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		ホームページにて公開している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6		外部の方を受け入れる体制であり、意見等に対して改善出来るよう努めている。	今後も引き続き、利用者様、ご家族に合わせ、業務改善を行う事でサービスの質の向上に努めていく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		外部研修に多数参加する事が出来た。(感染や虐待、災害、接遇等) 研修に参加した職員がパワーポイントで書類を作成し、他の職員に研修の内容を伝えている。	来年度も引き続き、積極的に外部研修に参加予定である。合わせて内部研修も引き続き行っていく、サービスの質の向上を目指す。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		アセスメント内容に変更があった際はその都度見直しを行っている。また、ニーズや課題を分析し、個別支援計画書の作成を行っている。	定期的にご家族と面談を行い、課題を把握し、個別支援計画書の作成に努めていく。

適切な支援の提供

⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		強度行動障がい等の利用者様に対し、利用者様が不穏な状況になられた際、落ち着いて過ごす事が出来るよう、シートを用いて、行動分析を行い課題解決に努めている。	
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		ミーティングで職員と話し合い、情報を共有し、チームで行っている。専門的アプローチを取り入れ、活動が固定化しないようにしている。	毎日の朝礼時に子ども達の活動について振り返りを行い、課題について検討していく。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	子ども達の成長に繋がりを、楽しんで行う事が出来る活動を考え、支援している。	利用児童によっては、活動プログラムが固定化している事がある。今後、工夫を行っていきたい。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6		平日は個々で週間予定表を立て活動を実施している。また、子どもの状態に合わせた自立課題を考え、行っている。休日や長期休暇等は、クッキング等、日頃行う事が出来ない活動を行ったり、PTのリハビリを行っている。	今後も引き続き、児童に合った活動内容を考え取り組んでいく。また、子ども達が楽しく活動が出来るよう工夫を行っていく。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		その都度モニタリングで見直し、支援計画に繋げるようにしている。	モニタリングで見直しは行っているが、利用児童の状況によっては計画通りにはいかない事もある為、本人が楽しみながら行う事が出来るよう、状態に合わせ、行っていく。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		毎日朝礼を行い、送迎時等の申し送り、前日の振り返り、当日のスケジュール、活動内容等について確認を行っている。行事前は指導案を作成し、職員配置や役割分担、注意事項を確認している。	長期休み等の休業日になると送迎の関係で時間が確保出来ない事もある為、日誌等を活用し、情報共有を行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	前年度同様、支援終了後の全体でのミーティングは行っていないが、職員間でその日の振り返りや気付きを出し合い、次の日の朝礼に繋げている。	送迎後十分な時間が確保できない為、翌朝に話し合うようにしている。毎月、職員会議を行っている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		日々の支援の記録は個別支援計画に基づき、細かく日誌に記載するようにしている。今年度より、ソフトを導入しているが、以前に比べ情報共有や支援の検証等を行う事が出来ている。	来年度も引き続き、記録・分析・改善を行っていきけるよう体制を整えていく。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しが必要と判断した際は、見直しを行っている。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援しているか	6		ガイドラインに沿って実施するように努めている。	
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者が参画している。医療ケア児に関しては、看護師も一緒に参画している。会議前には、保育士やPT、看護師と情報共有を行っている。	今後は、実際に関わる機会が多い保育士や児童指導員も参画出来る機会を作っていきたいと考えている。

⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6		毎年学校から年間計画書を頂き、月の行事予定の変更、災害時(台風や水害時等)の下校時間の変更等においても、学校、保護者と常に連絡を取りながら対応している。	学校から、緊急時はアプリで情報がいただけるようになっている。事業所からご家族へもコドモンのアプリを使用し、情報共有を行っているが、今後も継続して行っていきたい。
㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6		ご家族を通してお話しさせて頂いたり、必要に応じて通院に引率させて頂き、支援に繋げている。入院された際は、必ず退院前カンファレンスに参加し、主治医と連携を図っている。	子どもの状況に変化が見られる際は、主治医等と連携を図りながら支援を行っていく。入院された際は退院後の支援をご家族を通し、連携を図っていけるよう行っていく。
㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6		対象児の園での様子を伺ったり、情報共有と相互理解に努めている。放課後等デイサービスの事業所を併用されている際は、併用事業所とも情報共有を行っている。	
㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6		今回、学校を卒業され、就労の事業所に移行されたが、その際、情報提供を行う事が出来た。	今後も利用者様、ご家族が希望される場合は、情報提供を行っていく。
㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		法人内に児童発達支援センターがあり、OT等から助言を受け、子ども達の支援に繋げている。	
㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	1	商店街散策や公園、市立図書館等へ行き、障がいのない子ども達との交流を図る工夫をしていきたいが、現在は行う事が出来ていない。	放課後児童クラブ・児童館との交流は、今後検討していく。
㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6		法人内の職員が協議会委員、部会委員であり、参画している。	
㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		送迎時や連絡ノートに記入し、ご家族と日頃の状況や支援について話し、共通理解を持っている。	コドモンのアプリの導入を行っているが、情報共有が細目に行えるようになり、ご家族も喜ばれている。今後も継続して行っていきたい。
㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6		ペアレント・トレーニングという具体的なプログラムの提供は出来ていないが、その都度子どもの状況について情報共有し、相談しやすい関係作りに努め、家族支援を心掛けている。	今後は、ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムを取り入れる等の検討も行っていく。
㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		利用契約時に説明を行っている。また、モニタリング時期にはその都度支援内容の確認を行っている。	
㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		その都度相談に乗り、支援を行っている。	
㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6		父母の会の活動や保護者会等は行っていない。	現在父母の会はないが、今後、進めていく予定としている。

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		常時、ご相談に対応出来るように努めている。苦情受付窓口の設置等についても重要事項説明内に記載している。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		インスタで活動や行事の様子を発信している。	ご家族も喜ばれている為、今後も定期的にインスタ更新やアプリを使用しながら発信していきたい。
	③⑤	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		書類は鍵のついた所へ保管している。不要書類に関しては、シュレッダーにかけるを徹底している。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6		法人全体で年に一回秋祭りを開催しているが、今年度は行う事が出来なかった。	
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6		マニュアルは策定し、事業所内に保管している。	マニュアルの策定は行っているが、保護者の方への説明は不十分な所がある為、今後検討していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		定期的に訓練は実施している。	定期的に訓練を実施し、その際はご家族に連絡ノート等でお知らせ出来るように努める。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		管理者、児童発達支援管理責任者は、虐待防止研修に参加している。他の職員に関しても、内部で研修を行っている。	今後も引き続き研修に参加する事で、意識の向上を図り、虐待防止に努めていく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6		日常生活で使用するベルト等の使用に関しては、ご家族に説明を行い、身体拘束の説明書で確認も行っている。今後、改善していけるよう努めている。	今後も日常生活で使用する座位保持や車椅子等のベルト等の使用に関しては、ご家族に説明を行い、放課後等デイサービス計画の記載に努めていく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		アレルギーの有無は事前に確認し、主治医の指示書を基に厨房にて個別の献立を提供し対応を行っている。食事前も厨房、職員で二重の確認も行っている。	今後もご家族と情報共有を行うと共に、厨房、職員で協力し、安全な給食の提供に努めていく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		ヒヤリハットは作成しており、職員間で共有し、事故防止に努めている。	

○ この放課後等デイサービス評価表は、放課後等デイサービス事業所の職員の方に評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」、のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

